

刺鍼と脉状の変化について

●取穴するとき

粗暴な取穴、切経が早すぎる。 →数脉

示指を押し付けるように切経する→脈は硬くなる

●押手を作り穴所に置くとき

下面が開いたまま穴所に置く

→脈は開く

これに重さが加わる

→脈は開いて硬くなる

下面是合わさっていても置くときに重過ぎる、

あるいは衝突的に置く

→脈は硬くなる、数脉

●刺鍼時の脉状の変化

鍼尖の接触が粗暴である→数脉、脈は硬くなる、虚

●抜鍼時の脉状の変化

抜き方が遅い、あるいは鍼口を閉じるのが遅い→脈は開いて虚

刺鍼と脉状の変化について（穴埋め問題①）

●取穴するとき

粗暴な取穴、切経が早すぎる。 → ()

示指を押し付けるように切経する → ()

●押手を作り穴所に置くとき

下面が開いたまま穴所に置く → ()

これに重さが加わる → ()

下面是合わさっていても置くときに重過ぎる、

あるいは衝突的に置く → ()

●刺鍼時の脉状の変化

鍼尖の接触が粗暴である → ()

●抜鍼時の脉状の変化

抜き方が遅い、あるいは鍼口を閉じるのが遅い → ()

刺鍼と脉状の変化について（穴埋め問題②）

●取穴するとき

（ ）な取穴、切経が（ ）。 →数脉

（ ）を（ ）に切経する→脈は硬くなる

●押手を作り穴所に置くとき

（ ）が（ ）まま穴所に置く →脈は開く

これに（ ）が加わる →脈は開いて硬くなる

下面是合わさっていても置くときに（ ）る、

あるいは（ ）に置く →脈は硬くなる、数脉

●刺鍼時の脉状の変化

（ ）の接触が（ ）である→数脉、脈は硬くなる、虚

●抜鍼時の脉状の変化

抜き方が（ ）、あるいは鍼口を閉じるのが（ ）→脈は開いて虚